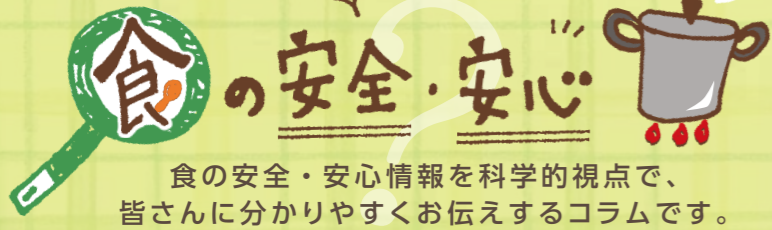


教えて！森田さん



食の安全・安心情報を科学的視点で、皆さんに分かりやすくお伝えするコラムです。

食品添加物は悪いイメージがあり、できれば避けたいと思う方も多いと思います。しかし、7月号でお伝えした通り、国が安全性を認めたものだけが使われる仕組みで、人の健康に悪影響が出ないように使用量も厳しく管理されています。なぜ、嫌われてしまうのでしょうか。

かつて食品添加物が問題となった事例

理由は、食品添加物のたどってきた歴史にありそうです。戦後の混乱期から昭和40年代頃にかけて、食中毒事件がいくつか起きました。1966（昭和41）年、農家でばた餅に人工甘味料「ズルチン」を大量に入れ、家族が急性食中毒になった事件が起き、ズルチンは2年後に使用禁止となりました。

昭和40年代以降は、添加物の安全性についてさまざまな観点から試験が行われるようになり、問題のあるものは使用禁止とされました。例えば豆腐に用いられる「AF-2」という防腐剤は、ある試験で発がん性が疑われて1974（昭和49）年に認可が取り消されました。当時、私は小学生で、母親は「添加物のがんになる」と心配していたことを思い出します。

その後、1つの試験だけで発がん性があるとは言えないことが分かり、AF-2もさらなる試験で問題なさそうだと分かりましたが、再び使われることはありませんでした。

昭和40年代以降、添加物による事故は起きていませんが、週刊誌などで、未だにかつて問題になったことを取り上げ「添加物は危ない」といった記事も見かけます。

2003（平成15）年にスタートした食品安全委員会は、添加物をどのくらいだったら食べ続けても安全か、がんにならないか、子孫に影響を与えないかを調べています。それをもとに厚生労働省が使ってもよい基準などを決めますが、そのことはあまり知られていないようです。

今月のテーマ

食品添加物はなぜ嫌われる？

食品添加物の役割を知って上手に活用を

すっかり嫌われ者となってしまった食品添加物ですが、使うときには必ず目的があって使用されます。

例えば豆乳を固めて豆腐にするための「にがり」、こんにゃくを固める「水酸化カルシウム」などの食品添加物は、それがないとその食品はできません。日持ちを良くする、酸化を防止するなど、食中毒にならないよう安全のために使われる場合もあります。

また、減塩のためにうま味調味料を使ったり、カロリー制限のために甘味料を使ったりと健康的な食生活を支える一面もあります。かつて無添加にこだわった私の母は、今は血糖値管理のため、甘味料を使っておやつを作っています。

このように、添加物にはさまざまな役割があるので、国やメーカー、流通などの安全性の取り組みも知った上で、上手に暮らしに取り入れていただければと思います。生協のように添加物をできるだけ使わないよう配慮しているところもあります。気になる方は、食品のパッケージの表示をチェックするとよいでしょう。

執筆者PROFILE

消費生活コンサルタント
もりた まき
森田 満樹



消費者団体(一社)Food Communication Compass代表。消費生活コンサルタント、東京海洋大学非常勤講師。食品安全、食品表示、消費者問題などで、講演や執筆活動を行っている。

国の審議会・検討会は、消費者庁・食品表示一元化検討会委員、食品添加物制度に関する検討会委員、厚生労働省・食品用器具及び容器包装の規制に関する検討会委員など。

著書は『新しい食品表示がわかる本（女子栄養大学出版部）』『食品表示法ガイドブック（ぎょうせい）』など。

vol.20

くらしの安全・安心

今月のテーマ 水漏れ修理、解錠などの

「暮らしのレスキューサービス」でのトラブルにご注意を

暮らしに潜む消費者トラブルから身を守るための情報を、京都府消費生活安全センターからお届けします。



消費者庁 消費者ホットライン188 イメージキャラクター「イヤヤン」

日常生活でのトラブルに事業者が対処する、いわゆる「暮らしのレスキューサービス」は、専門知識がない消費者が困った時の手助けとなる一方、料金や作業内容などで**事業者とトラブルになるケースが報告**されています。

相談事例1

「見積もり無料」のチラシを見て蛇口の水漏れを確認してもらったら、水道管内部確認のため蛇口を取り外し、給水設備全体の交換が必要と50万円の見積書を出された。高額なので断ったところ、蛇口取り外し料2万円を請求された。

相談事例2

玄関の鍵が開かなくなり、インターネットで探した業者に錠前交換を依頼したところ、事前の見積もりでは15,000円程度だったのに作業後、45,000円を請求された。

相談事例3

トイレが詰まり、インターネットで見つけた業者に料金などをよく確認せずに修理を依頼した。修理してもらったが、結局便器を交換することになり、20万円を請求された。

アドバイス

1. 広告の表示や電話で説明された料金をうのみにしないようにしましょう。
2. 慌てて事業者を呼んでしまいがちですが、**複数社から見積もり**を取り、サービス内容や料金を十分に検討した上で契約しましょう。
3. 作業前に再度、料金やサービス内容を確認することも大切です。納得できない場合は**きっぱり断り**ましょう。
4. トラブルになった時は、お住まいの地域の**消費生活センター**などに相談しましょう。

消費者ホットライン（全国共通）
（お近くの消費生活センターにつながります）
イヤヤン！
188
（局番なし）

京都府消費生活安全センター

消費生活相談 ☎075-671-0004
9：00～16：00（平日）※年末年始休

土日祝日相談（緊急のみ）☎075-257-9002
10：00～16：00（土日祝）※年末年始休

京都生協 検査・点検報告 残留放射性物質の検査の詳しい内容を京都生協ホームページで公開中！

工場点検レポート

京都生協コープ商品「いりごま 白」を製造する、カタギ食品株式会社を点検しました。製造工程は仕様書通り適正に運用・管理されていること、原料から製品までのトレーサビリティの仕組みが確立されていることを確認しました。また施設の衛生管理や異物混入対策などが徹底されていることを、工場内や記録類で確認することができました。



▲ 工場外観

工場は、ISO（国際標準化機構）の食品安全マネジメントシステムなどを取得しており、施設内での取り組みも徹底されていました。



▲ 包装室での点検

日付の間違いがないか、金属探知機が正しく動作するかなどについて、聞き取りや記録点検などから、問題がないことを確認しました。

〈8月度検査結果〉

農産物残留農薬検査	10 検体	
米の残留カドミウム検査	0 検体	
卵質検査	863検体	
鶏卵サルモネラ検査	9検体	
微生物検査	店舗調理商品	111件
	京都生協コープ商品	22 件
	その他	91 件
京都協同食品プロダクト(株)商品	4 件	
残留放射性物質検査	5 件	

京都生協の点検項目・検査基準に照らし安全に供給できることを確認しました。



京都生協ホームページでも産直商品、京都生協コープ商品の産地・工場点検の様子をお知らせしています

